

令和5年度大阪府立門真西高等学校 第1回学校運営協議会 議事録

《日時》令和5年7月5日(水) 15時～17時

《場所》校長室

《出席者》

・委員

木村 雅則(四天王寺大学 教授)

峯松 大輔(門真市教育委員会 教育部 統括参事)

脊戸 利子(門真市立門真はすはな中学校 校長)

杉井 信夫(門真市立速見小学校 校長)

中内 恵(本校同窓会)

谷田 麻里枝(令和5年度本校PTA 会長)

・事務局(学校関係者)

校長 教頭 事務長 首席2名 教務主任 生徒指導主事 進路指導主事 保健主事

第3学年主任(首席と兼任) 第2学年主任 第1学年主任

1. 開会 校長挨拶

委員紹介

事務局紹介

会長挨拶

2. 学校運営協議会について

会 長 木村雅則

副会長 峯松大輔

3. 教頭より学校の状況について

(1) 在籍生徒数 1年生は5クラス定員を6クラスに展開

(2) 原級留置及び退学者数

(3) 昨年度卒業生(44期生)の進路状況 大学進学者増

(4) 現3年生の進路希望状況(4月)

(5) 部活動加入状況 30.2%

(6) 補導件数

(7) 遅刻人数 延べ人数/割合がR3から増加傾向

(8) 保健室入室状況 延べ人数/割合がR3から増加傾向

(9) 入学者の出身分布 昨年度比大阪市からの入学者が増加(約2倍)、昨年度比門真市からの入学者が減少

4. 校長より令和5年度学校経営計画について

(1) 学校経営計画・中期的目標:下記、特に重点を置きたい項目

① 確かな学力の育成 授業の満足度向上

② キャリア教育の推進 就職希望者内定100%

保護者や地域に適切な進路情報を提供する

③ 豊かな心と健やかな体の育成と学びを支える環境整備

・遅刻者前年度比を減らす(1人当たりの遅刻数)

・部活動加入率向上→リーダー研修行う

・アンケート結果の「学校行くのが楽しい」率を上げる

④ 学校力の向上 学校説明会、中学校訪問回数を増やす

情報発信を増やす

⑤ 教員の働き方について 電話対応の制限(17:00～8:30)

欠席連絡オンライン化 会議資料のペーパーレス化

(2) 4年度から5年度にかけての中期的目標変更箇所多数の項目

① 確かな学力

② いじめ防止

③ 教員の働く環境改善

5. 教科用図書選定について

6. 協議

(委員)補導の事案内容はなにか。

(事務局)e-bike、sns、飲酒、sns投稿から発覚事例増加

(委員)校内事案はないのか。

(事務局)ほとんどなし。形跡はあるが確保には繋がっていない。考査不正が減少

(委員)3ない運動(バイクの免許を取らせない・買わせない・運転させない)はどうなっている。

(事務局)3ない運動はないが、生徒には伝えている。懲戒対象にはならない

(委員)懲戒の対象にならないのか。

(事務局)学校に乗ってきたら、懲戒対象

(委員)生徒アンケート項目「学校へ行くのが楽しい」を向上させるための具体計画はあるか。

(事務局)本校生徒の60%が「楽しい」と回答。他校の場合は80%。何が楽しいと感じるかは未解明。楽しいと思わないと学校に来ない。

(委員)生徒は楽しくないのか。

(事務局)不登校者数の現状から楽しくないと思う生徒が一定数存在。楽しくない原因は未解明。

勉強苦手、授業がわからない→楽しめないのではないのか。

行事を増やすなど、生徒が得意だと感じることを増やす機会を増やすのも一つの策。

コミュニケーションが苦手な生徒に対しては教育相談やSC.SSWの利用を促す。

(委員)不登校と学校楽しくないは原因が違うのではないか。不登校は要因が複雑で改善困難。その一方で、学校を楽しいと思ってもらえるようにするには学校で努力ができる。

達成感、交わる機会を増やすことができれば、きめ細やかな対応につながるのでは。

(委員)学校が楽しいと感じるには授業が1つのポイントだと思うが、授業がわかる→学校が楽しいという繋がりを生み出すために、授業作りに関してどのような取り組みをしているか。端末活用状況は。

(事務局)1学期中フレッシュミーティングを開催。校長が授業見学を行う際には、フレッシュミーティングに参加している教員を中心に授業見学に誘う。授業見学したいがなかなか時間を作れないことも多い。他の時間で生徒はどのように過ごしているのかを観察。授業見学後フレッシュミーティングで意見共有。

(委員)教員の授業に対する生徒からの意見は収集しているのか。

(事務局)懇談で情報収集。授業アンケート年2回実施。その後分析、改善。

(委員)中学校訪問件数が増加。来年度志願者増加に繋がれば。

中学校は高校からどのような情報が欲しいか。

(委員)高校を無事卒業できるか。そのための手立ては何をしているのか。中学卒業生の本校でのその後の過程が気になる。

(事務局)中学校訪問については、2年ほど前に本校から2時間以内の範囲の中学校をリストアップ。その中学校を対象に訪問。

(委員)スクール・ポリシー案について→特に異論なし

(委員)教科用図書選定について、決定プロセスはどのようなものか。

(事務局)生徒に適した教科書を選んで、教科会で決定。最終的に選定委員会が決定。

(委員)生徒状況を鑑みての教科書選定が重要

(委員)教科書はデジタルと連動しているのか。

(事務局)QRコードを読み込んでも生徒のクロームブックだと制限がかかる場合がある。

教員側でしか利用できない場合も。インターネット制限が厳しい。

(委員)教科書のデジタル化については。

(事務局)完全デジタルバージョンだと高価になり購入不可。

(委員)教科書の担当が1人の場合の教科書選定はどうなっているか。

(事務局)その教員に信頼をおいて選定してもらっている。他校の教員との繋がりが防止策の1つ。

(委員)現状は、教科書に追加してプリントを配布するのか。

(事務局)教科書を改良してプリント配布

(委員)門真市の小中学校ではAldrilを活用。

(委員)小中学校ではタイピングができる児童生徒が多い。クラウドベースのホワイトボードを活用しての意見共有。

その中で、できた、「わかった」をいかに達成するかが重要に。端末によって意見交流が活性化。主体的で対話に対応、ICTを効果的に使うか。理解をどのように深めるか。

(事務局)タイピングができる一方で、漢字の書き能力はどうなのか。

(委員)書き能力にも時間をかけている。

(事務局)本校生徒は漢字を書くことができない場面が多数。

(事務局)コロナ前同様出前授業を行いたい。どのように再開すれば良いか。

(委員)高校から中学校に問い合わせ。

7. 閉会 校長挨拶

次回(第2回) 10月下旬～11月上旬予定